

第23回 DAAS運営委員会

□日時：2013年4月26日（金） 13:00～12:00(予定)

□場所：ソーシャルインキュベーションオフィスSUMIDA セミナー室

〒100-0014 東京都墨田区本所 3-15-5 1階

Tel: 050-3786-0568

□議案：

[報告事項]

DAAS-Web機能追加について

〈資料1〉

[討議]

DAASの原点回帰

〈資料2〉

□資料

資料1 -DAAS-Web 機能追加について

資料2 -原点回帰

参考資料1 -建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム設立趣意書

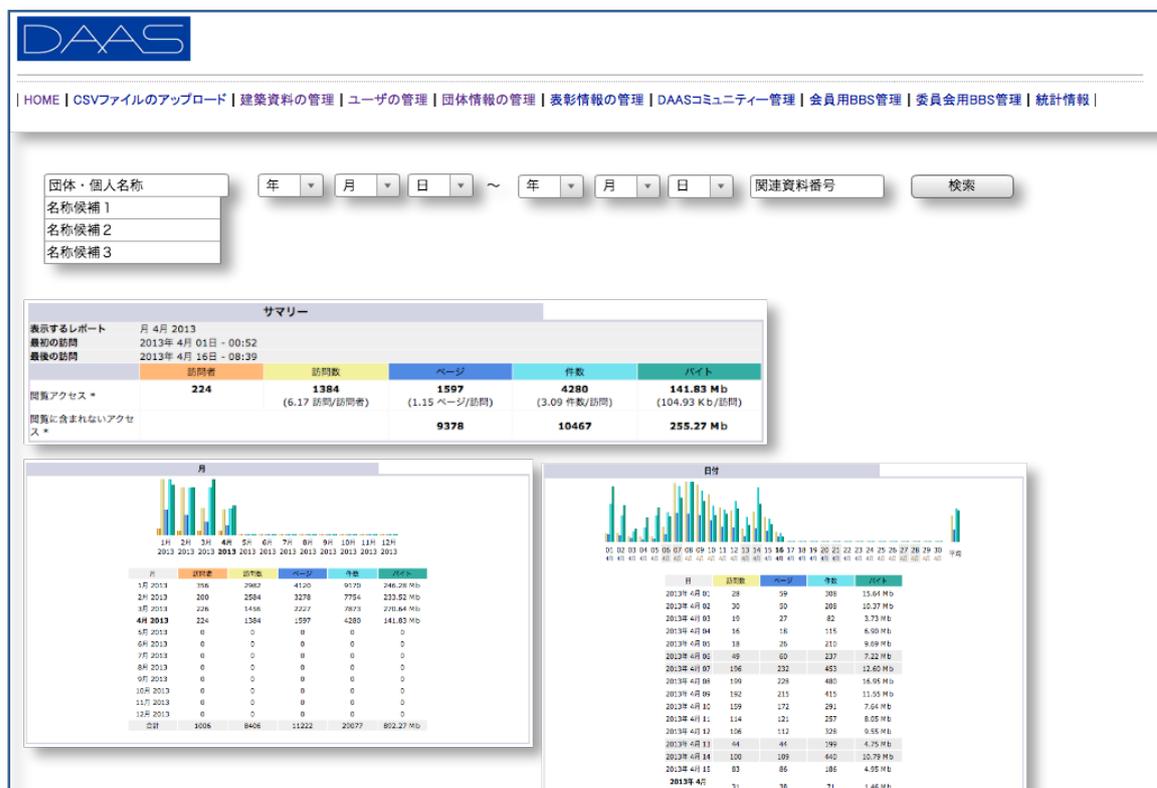
参考資料2 -DAAS 設立の背景等の整理

別添 -建築・空間デジタルアーカイブスへの協力の御願い

DAAS-Web 機能追加について

1. 写真提供者毎の写真表示回数の表示

- (1) 内容
写真提供者(個人、団体)毎に、写真(画像)の表示回数を表示する。
- (2) 表示対象画面
管理画面内の個人情報 / 団体情報の検索結果一覧。
- (3) 表示項目
年毎 / 月毎 / 日毎の表示回数。 グラフ及び、表にて回数を表示する。
- (4) 検索項目
個人、団体単位で以下の検索項目を設ける。
年月日、写真(画像)。
- (5) CSV ダウンロード機能
日毎の表示回数を CSV にてダウンロード可能とする。



上記はイメージであり実際の画面構成とは異なる可能性があります。

■原点回帰

1) 平成 17 年度 DAAS プロジェクト

- ・ 何をするための、誰のための DAAS プラットフォームなのか
(国費投入の理由。国交省の関与、推進してきた理由とは?)

2) DAAS の使命

- ・ 趣旨に賛同し活動に参加・協力を頂いた会員
- ・ その趣旨とは? = 設立趣意書のとおり

3) DAAS 各会員がよせる期待

4) 国土交通省の DAAS に対する期待

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム設立趣意書

日本においては古来、優れた技術、意匠による建築物が作りだされてきました。また、高度経済成長期から今日にかけて、世界的にも有数と考えられる相当規模の建築活動が行われ、その中においても、建築関係者の英知、才能、美意識が傾注された優れた建築物が多く建てられてきました。

そうした建築物は、我が国の貴重な文化資産であり、今も使われ続けているものがある一方、普遍的な価値を有しながら、残念なことにすでに除却されてしまったものもあります。さらに、こうした貴重な建築物を記録した図面や写真等についても、劣化が進み消失の危機に瀕しているものが少なくありません。

一方、近年の情報のデジタル技術やネットワーク技術は、従来のような情報の保全や収集の概念を大きく変え、保全した情報の活用も含め、様々な可能性を広げており、すでに、これら技術により優れた建築物の記録等を保全しようという動きが、日本あるいは世界各地で始められてきています。

個人にとっても社会にとっても建築行為は大きな投資であり、その投資は、優れた建築文化を理解し、その蓄積の上に行われ、さらに将来に向けて新たな価値を積み重ね、我が国の資産を確実に形成していくものであることが望まれます。優れた建築物の記録を保全することは、建築文化の蓄積を図り、また実際の建築物の保全に対する認識を高める上でも不可欠な活動と考えられます。

そうした中、今般、日本政府において、民間から提供を受けた貴重な建築写真をもとに、建築・情報技術等に関する有識者の協力により、建築物の記録を保全するデジタルアーカイブスの基礎がつけられました。

本コンソーシアムは、日本の建築界の総意と、大学、美術館等の学術研究機関、IT やメディアなど幅広い分野の参画を得て、このアーカイブスの運営を引き継ぎ、他の保全活動を行う様々な主体とも連携しつつ、さらに充実してゆくために設立するものです。本コンソーシアムは、その活動を通じ、過去からの資産を次世代に伝え、建築文化の進展を図り、豊かな建築空間、景観、環境の形成に寄与してまいります。

DAAS 設立の背景

失われつつある優れた建築資料の保全

世界に誇るべき我が国の文化と技術への責任

インターネットを通じた情報発信による文化の継承

情報社会を見越した資料提供のあり方と資料活用への挑戦

デジタルアーカイブの特性

デジタル化によって現物資料の不用意な利用を減らせる

アーカイブ化によって総覧性や検索性能を高められる

デッドストックをライブストックに

DAAS の使命

アーカイブスとして

建築・景観・街並みに関するあらゆる資料を収集・蓄積
現物の物理保存とデジタル情報のレプリカ保存の両立

アライアンスセンターとして

建築アーカイブが内包している問題を解決

保護から活用への転換

国内の建築アーカイブの多くは資料の積極的な活用を行わない

デジタル技術によって現物資料の保護と情報の活用の両立が可能に

オープンなアーカイブ・アライアンスを目指す

国内の建築・景観街並みを網羅し様々な糸口によって体系化された知の構築

建築・空間デジタルアーカイブスへの協力をお願い

建築家槇文彦氏を代表とする有志の方々及び国土交通省では、現在、我が国の優れた建築物等の図面、写真等の資料を収集し、デジタルアーカイブスとして整備し、ネットワークを通じ、広く国内外に情報を発信、公開するプロジェクト、「建築・空間デジタルアーカイブス（D A A S ; Digital Archives for Architectural Space）の準備を進めております。

このアーカイブスは、単に収集資料を公開するだけでなく、ネットワークを活用した、建築教育プログラムの開発・提供や、建築及び関連文化に関する国内外の情報交流、学生の制作発表など、様々な企画を展開することを予定しています。

このため、国土交通省ではすでに平成17年度予算で国費約2億円を確保し、基本的なコンテンツ及びシステムからなるアーカイブスを整備することとしており、平成18年度からは、その成果物を建築界において組織化するD A A S コンソーシアムに引き継ぎ、コンソーシアムにおいて、コンテンツの充実やそれを用いた各種企画を運営、展開することとしております。

貴殿、貴社におかれましては、このプロジェクトの趣旨にご賛同いただき、別紙について、ご参加、ご協力をいただきたくお願いを申し上げます。

なお、このプロジェクトについては、17年度は、(財)日本建築センターにD A A S 準備事務局業務を委託しており、詳細については、ご指示いただいた連絡先に、追って事務局よりご連絡申し上げます。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

平成17年9月

ご参加、ご協力のお願い

1. 呼びかけイベント

D A A Sプロジェクトを紹介するとともに、広く参加・協力を呼びかけるため、建築分野、情報分野の第一人者を交え、海外における建築アーカイブスの動向や、アーカイブスの可能性等について、ご議論頂くイベントを開催します。ぜひ、ご参加ください。

日時：10月28日（金）14時～17時

- ・シンポジウム「アーカイブスの可能性について」（仮称）
- ・講演者等：楨文彦（建築家）、村井純（慶応大学教授）、隈研吾（建築家）、和泉洋人（国土交通省住宅局審議官）他

場所：三田共用会議所（港区三田2-1-8（オーストラリア大使館ならび））

○参加申し込み方法

D A A S準備事務局ウェブサイト（<http://www.daas.jp>）に、9月下旬から掲載いたします。

2. コンテンツ提供等のお願い

D A A S準備事務局は、すでに（株）新建築社の保有する膨大な写真、図面等の提供のお申し出をいただいておりますが、アーカイブスのコンテンツを充実するため、広く、建築物に係る図面、写真、資料等について、ご提供をお願いしています。

ご提供いただくにあたっては、著作物の原権利の保護に十分配慮し、インターネット上で広く国内外に発信できる一定の解像度のデジタル情報の利用権をご提供いただくなど、提供方法について十分協議させていただくこととしています。なお、ご提供にあたっては、可能な限りデジタル化されたものでのご提供をお願いいたします。

また、デジタル化されていない資料等の提供を受けた場合には、当該資料に係る建築物リストを公開し、それぞれの資料のデジタル化への協力者を募ること等も予定しています。

○コンテンツ提供及びデジタル化への協力のお申し出方法

DAAS準備事務局ウェブサイト (<http://www.daas.jp>) に、9月下旬から掲載いたします。

3. DAASコンソーシアム（仮称）の立ち上げへの参加、協力

DAASプロジェクトにおいては、平成17年度中にDAASコンソーシアム（仮称）の組織化を準備し、平成18年度当初にコンソーシアムの設立総会を予定しています。

DAASコンソーシアム（仮称）は、趣旨に賛同していただいた個人、企業・団体、大学等を会員とし、会員の入会費、年間会費、及び有料コンテンツの使用料、各種事業企画、建築教育用プログラム等の開発・提供等により運営することとしており、会員には、有料コンテンツの利用等において各種サービスを提供することを予定しています。

DAASコンソーシアム（仮称）の立ち上げにつきましては、すでに、楨文彦氏に発起人代表をお願いしており、現在、広く建築界及び関連各界の個人、企業・団体の代表者の方々に、発起人へのご参加を広く呼びかけているところです。

このプロジェクトにご賛同いただき、ご入会いただきます場合は、参加方法、参加費等のご案内を申し上げますので、DAAS準備事務局までご連絡ください。

なお、コンソーシアムの運営方法等につきましては、公正、的確な運営を行い得るよう、諸規則の整備等、現在、準備事務局で準備中であり、随時、DAAS準備事務局のウェブサイトで公開するとともに、参加のお申し出をいただいた方にご連絡申し上げます。

（参考）DAASコンソーシアム（仮称）予定会費等について

	入会金	年会費
個人	2万円	2万円
法人	50万円	50万円
団体（公益法人等）	20万円	20万円
教育機関（大学等）	10万円	10万円

※平成17年末に振り込み口座を開設いたします。

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム 委員等国内旅費規定

制定：2008 年1 月18 日

(総則)

1. 委員等の出張費用は、この規定の定めるところによる。

(交通費)

2. 交通費については出張業務処理上、最も合理的かつ、経済的な経路及び方法により計算支給するものとし、下記基準で実費支給する。

○片道50km 未満 実費

○片道50km 以上の場合 実費とし、急行又は特急料金（新幹線を含む）を適用してよい交通機関は、鉄道・バス・船舶等の公共機関を使用するものとする。

但し、原則として新幹線で片道3時間以上かかる場合は航空機を使用できるものとする。

なお、航空賃は領収書による実費精算とする。

(旅費の支給方法)

3. 事務局が支給の有無及びその額を決定し、支出対象者へ現金、または後日振り込みにて支給する。なお、現金で支給の場合、事務局は予め領収書を用意のうえ、受領者は領収書へ署名、押印後、事務局へ提出する。

(その他)

4. 理事会は、理事会の議決を経て、以上の条項を修正したり、新たな条項を加えることができる。

(付則)

1. この規定は、2008 年1 月18 日よりこれを施行する。

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム 職員等国内旅費規定

制定：2008 年1 月18 日

(総則)

1. 職員等（臨時雇用者を含む）の出張費用は、この規定の定めるところによる。

(交通費)

2. 交通費については出張業務処理上、最も合理的かつ、経済的な経路及び方法により計算支給するものとし、下記基準で実費支給する。

○片道50km 未満 実費

○片道50km 以上の場合 実費とし、急行又は特急料金（新幹線を含む）を適用してよい交通機関は、鉄道・バス・船舶等の公共機関を使用するものとする。

但し、原則として新幹線で片道3時間以上かかる場合は航空機を使用できるものとする。

なお、航空賃は領収書による実費精算とする。

(旅費の支給方法)

3. 上記に該当する者は、事務局に交通費精算書を提出する。

○氏名

○交通機関と乗車区間

(旅費の支給方法)

4. 交通費精算書に運営委員長の確認と押印後、事務局が支給の有無及びその額を決定し、提出者へ現金、または後日振り込みにて支給する。なお、現金で支給の場合、事務局は予め領収書を用意のうえ、受領者は領収書へ署名、押印後、事務局へ提出する。

(その他)

5. 理事会は、理事会の議決を経て、以上の条項を修正したり、新たな条項を加えることができる。

(付則)

1. この規定は、2008 年1 月18 日よりこれを施行する。